



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036
代表TEL：(0567)26-3921
FAX：(0567)26-3922
ホームページ http://www.s-o-s.co.jp

老いの姿を学ぶ～愛宕の家の日々より～ その6

「受容」・・・気持ちや考えを肯定も否定もせず、あるがままに無条件に認めること

入居者Mさん。穏やかな表情で歌に合わせてリズムを取り、スタッフの子供を自分の孫の名で呼ぶ。「またお父ちゃんに怒られるで、早よ帰らないかんでえ～。私もご飯炊いとかなあかん。」
この時のMさんは、何年前なのか定かではないが、昔の自分になっている。普段は膝が痛くて歩ける気配すら見せないのに、この時代に生きる時、階段を使って1階まで降りて行く。

Mさんの対応には、誰もが戸惑う。慣れないスタッフはつい「上手く関わられません。」と口走ってしまう。スタッフが、Mさんの話す内容に関心を示し、今の様子そのものを認め、その行動に対して決して介護者の想いを押し付けたりせず、付かず離れずで関わると、何故か上手く誘導できることがある。

認知症の人には、特に安定した環境(介護・排泄・清潔・睡眠 等々)が大切である。なぜなら、人・場所・日時など、自分の生きている“今”を全く把握できていない場合が大半をしめる。でもそれは、困ったことに、いつもそうではない。上記にもあるように、昔に生きているのか・今を生きているのかそのときによって瞬時に変わってしまう。それが認知症の人にとっては当たり前の日常の場合が多い。

高齢者や障害者の中には言葉で表現することが困難な場合が多い。その人々に接する場合には「やさしい眼差し」「ゆとりのある動き」「静かに頷く」「そうだね」と相槌を打つ。関心を向けて応答するだけでも、自分が認められたという感情は伝わっていく。それが人としての安堵感に繋がり、何よりも人と人との関わりの中でぬくもりを生み出すことになるのだと思える。私達介護従事者でも「受容」の姿勢は容易ではないし、100人いれば100通りの認知症をどう受け止めるのかで右往左往することがある。それでも、常にそういう気持ちでいることを意識して、合わせて、自分の変革を目指すことが必要ではないだろうか。(1)

《準備は着々/S・O・S》

(右→)先月の通信でもお知らせした通り、8月14・15日に「夏の宴」を開催します。写真の様に看板に貼り付ける「ありがとう」の文字板を作ったり、準備は着々と進んでいます。来て下さる方々が、楽しい時間を過ごし、当社のことを知って頂いたり、介護に関して考えるきっかけになれば嬉しいです。是非、お気軽にお越しください。



《踊らにゃ損!? / S・O・S》

先日、民謡と踊りのボランティアの方々が来て下さいました。きれいな着物に身を包み、優雅に踊る姿に皆の目は釘づけ！「きれいだねえ」「優雅ねえ」と惜しめない拍手を送りました。認知症の方も、歌や踊りを楽しむ気持ちは忘れていないようで、手拍子を打ったり、口ずさんだりました。

普段、愛宕の家で過ごしている入居者さんも、賑やかな声を聞きつけて次々とデイのフロアへ来られ、最後にはみんなで盆踊りを踊ることに。車いすのTさんも自然と手が動いていましたよ。やっぱり夏には盆踊り！夏の宴でも踊る予定です。



《食べ過ぎ禁止・・・/ ナイス・デイ》

いつものおやつに、採れたてのきゅうりの塩もみが一緒に登場。散歩の途中、畑で大きくなった野菜を採ってきた日には、こんな風にポリポリと頂きます。食べ物から季節を感じるって小さな幸せだと感じます。「みずみずしくて美味しい」「夏だねえ」「汗かくから水分も取らなきゃ」と話題も夏に関する事で盛り沢山です。



《社会情勢を把握/愛宕の家》



「待っていました」とばかりに届いた新聞を広げる朝の光景です。いくつになっても、新しい情報に敏感なこと、活字を目で追い理解すること、ニュースについて考えることはとても大切。スタッフは、「今日のニュースは?」「天気は?」と教えてもらい、頼りにしています。

《アンケート/S・O・S》

7月の終わりから今月の始めにかけて、当社の利用者さんやご家族を対象にアンケートを実施しました。皆さんにご協力を頂き、ありがとうございました。このアンケートの結果を基に、皆さんの意向や気持ちを知り、今後のサービスについて考え、可能な限り見直しをしております。アンケートの結果は改めて報告させていただきます。また、日常的に、気になること、改善が必要と思われること等がありましたら、アンケートを待たず随時間かせて頂きたいと思っております。今後とも宜しくお願いたします。



《むくみ予防/ナイス・デイ》

足のむくみの原因のひとつには、足の筋力低下に伴った新陳代謝の低下、リンパの流れの悪化が挙げられるとか。そこで、足を動かしたり歩いたりすることで、血行を良くするよう心がけています。靴や靴下を脱いで締め付けをなくしたり、座ったり横になった時に足を上げたり・・・様々な取り組みも一緒に行っています。むくみ解消でスリムな脚になりますように。



《味付くらべ/ナイス・ケア》



夏休みに入り、スタッフの子供達の元気な声が聞こえています。花壇付近に出没する亀を観察していた子供探検隊は、亀の産卵に遭遇。親ガメが約30分かけて生んだ15個の卵のうち、5個を観察用に自宅で育てることにし、あとの10個は土の中に戻すことに。大人も子供も生命の神秘に感動したひと時でした。15匹の亀がふ化するといいな♪

《見つけた! / 託児》



《編集後記》

8月は、原爆記念日や終戦記念と戦争にまつわる記念日が多くあります。戦争のことが話題になると、周りのお年寄りの反応は様々です。兵隊に行っていたことを誇らしげに語る方、原爆や空襲で肉親を亡くされた辛い思いを話す方、思い出したくないと話題から遠ざかる方もいます。その人その人の思い出を聞いていくと、一冊の本が出来上がるようです。月日が経ち、戦争を知る人が少なくなってきた今、戦争等の過去についてきちんと知り、未来について考えることが大切だと戦争を知らない世代の私は感じます。同時に、青春時代を戦争という出来事に振り回された方々に、今、穏やかな生活を送ってほしいと願います。